

標 題 : Long-term adherence to the Mediterranean diet reduces the prevalence of hyperuricaemia in elderly individuals, without known cardiovascular disease: The Ikaria study
地中海食事の長期間順守は心臓血管系疾患のない高齢者で高尿酸血症の有病率を減らす: イカリア島研究

著 者 : C. Chrysohoou, et al. (ギリシャ アテネ大学 医学部 第1心臓病診療所)

掲 載 誌 : Maturitas 70: 58-64 (2011)

要 旨 :

背 景 : この研究の目的は、心臓血管系疾患のない高齢者で血清の尿酸値に対する地中海食事順守の影響を評価することであった。

方 法 : 2009年の間に、女性281人(75±6歳)および男性257人(75±7歳)のその島の恒久的住民が自発的に参加した。

地中海食事の固有な特徴を評価する食事スコア(地中海食事スコア、0-55点の範囲)を適用した。

尿酸の血清値を、ウリカーゼ-ペルオキシダーゼ法による酵素比色試験を用いて測定した。

高尿酸血症を、男性は尿酸>7mg/dL、女性は>6mg/dLと定義した。

結 果 : 高尿酸血症の有病率は、男性で34%、女性では25%であった(p=0.02)。

地中海食事順守の平均値は35±2であった。

地中海食事スコアは尿酸値と逆の関連をすると(b±SE: -1.48±0.17, p<0.001)、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病、クレアチニン・クリアランス、運動およびコーヒー摂取を調整した後の全体的なサンプルで、線形回帰分析によって明らかにされた。

分析を性別によって階層化したときは、地中海食事スコアは男性で逆の関連をしたが(b±SE -1.10±0.42, p=0.009)、女性では関連しなかった(b±SE: 0.04±0.4, p=0.92)。

結 論 : 高齢者における尿酸値の調節による、地中海食事のもう一つの心臓予防作用が明らかになった。

食事と尿酸値との間の関連の男女による影響の違いは、さらに研究に値する。

キーワード : 高尿酸血症、食 事、地中海、高齢者
